

講座名（専門科目名）	情報統合医学講座（医学統計学）	教授氏名	服部 聡
学生への指導方針	医学統計学の基礎、ならびに、統計解析を効率的に実施できるプログラミング技術をきっちりとし身につけるように指導します。また、医学統計学関連の論文を適切に理解し適切に適用でき、更には問題点を見出し、その克服に貢献できる能力を身につけるべく指導します。		
学生に対する要望	簡単に分かった気にならず、粘り強く考え抜く習慣を身につけてほしいと考えています		
問 合 せ 先	(Tel) 06-6879-3301 (Email) office@biostat.med.osaka-u.ac.jp	担 当 者	吉久保浩子
その他出願にあたっての注意事項等			

（以下教室紹介）

医学研究においては、個体差に伴う不確実性を前提として科学的な議論を行う必要があります、統計的方法が重要な役割を果たしています。臨床試験や観察研究の計画と解析には統計学的な技術が本質的な役割を果たしており、その方法も高度化する傾向にあります。

本研究室では、統計的方法の適用による医学研究への貢献と、既存の方法論では満足いく解が得られない問題に対する新しい方法論の開発による医学統計学への貢献を目指しています。方法論研究としては、

1. 傾向スコアによる観察研究の統計解析法
2. 癌登録等に現れる生存時間解析法
3. バイオマーカー研究のためのメタアナリシスの方法

などの観察研究、既存データからの情報抽出に関する研究をしてきました。現在は、医療データ科学寄付講座、未来医療開発部データセンターと密接に連携し、無作為化臨床試験、観察研究等の統計解析に関する広範な問題に対する研究を行っています。

医学研究に用いられる統計手法はますます高度化しており、医学統計学を正しく理解し、医学研究に参画し貢献する人材、更には、医学統計学自体を発展させていける人材が重要となってきています。しかしながら、我が国は医学統計学を専門とする人材が著しく不足する状況にあります。多くの方の参入を歓迎いたします。